



大阪府立東住吉支援学校 地域支援だより

令和6年2月26日
支援相談部
第2号 (HP 掲載)

今年度は、昨年度よりも地域支援の相談件数が若干増えました。5月に新型コロナウイルス感染症の対応が5類感染症へと移行したことから支援の申込みをしやすくなったのではないかと印象があります。

支援申込みの中でも小学1年生の相談が多くありました。自由な発想や遊びを通して学ぶ幼児教育と、規律や指導者の模倣をすることが大事になる学校教育では大きなギャップがあるといわれています。近年では「幼小接続」がいわれるようになり様々な取り組みがなされていますが、やはりその大きなギャップに対して「つまずき」を示す子どもが多いのかもしれません。また、昨年度にはなかった車椅子を使用している児童についての相談が数件ありました。本校には肢体不自由教育部門と知的障がい教育部門があり、様々な種類の相談に専門性を持った教員が対応しています。どうぞお気軽にご相談ください。

【地域支援の状況】 (2月19日現在 年度内訪問予定も含む)

| 校種 | 校園数 | 支援や訪問の回数 | 支援相談申し込み児童生徒数 | 出前授業研修講師 |
|-----|-----|----------|---------------|----------|
| 幼・保 | 3 | 9 | 15 | 2 |
| 小学校 | 13 | 34 | 32 | 0 |
| 中学校 | 3 | 6 | 6 | 2 |
| 高校 | 0 | 0 | 0 | 0 |



支援 TOPICS ! 「合理的配慮の提供義務化」

共生社会の実現を目指し、令和6年4月より、**民間事業者も**「不当な差別的取り扱い」を禁止し、障がいのある人からの申し出があった場合に「合理的配慮の提供」が**法的義務化**されます。

学校教育ではすでに平成28年から個別の教育支援計画に明記し、合理的配慮の提供をしております。では、改めて合理的配慮について考えてみましょう。

○物理的環境の配慮に関すること

- ・聴覚が敏感な子どもに対し、ノイズを除去することを目的に椅子の脚に緩衝材をつける。
- ・情緒不安定になる子どもに対して落ち着くまで静かに休む場所を用意する。
- ・医療的ケアが必要な子どもに対し、衛生的かつ給湯設備のある部屋を確保する。



○意思疎通の配慮に関すること

- ・見通しがもてないと不安な子どもには、本人の理解度に合わせて実物や写真、シンボルや絵などで活動の予定を示す。
- ・活動のキーワードのカードを作成し、ポイントをわかりやすく示したうえで説明する。
- ・話を聞きながら、板書やメモをとることが苦手な子どもに対して、書く・聞くなどの作業を分ける。

○ルール・慣行の柔軟な変更に関すること

- ・多くの人が集まる場が苦手で、集会や行事に参加することが難しい子どもに対し、集団から少し離れた場所で本人に負担がないような場所に席を用意したり、聴覚過敏があればイヤーマフを用いたりする。
- ・授業の録音、板書の写真撮影などの ICT 機器の利用を認める。
- ・学校の授業や実習での情報保障機器（補聴器、FM ロジャー、UD トークなど）の使用や、障がい特性に応じた配慮を認める。
- ・慢性的な病気等のためにほかの子どもと同じような運動ができない場合、本人・保護者・主治医などと相談し、運動量を軽減したり、大体の運動や課題を用意したりする。



引用：大阪府障がい者差別解消ガイドライン第3版

書くことが苦手なあの子。どうしたらいいかな？
いっぱい書かせたらいいかな？



苦手の要因をよく考えて、それに基づいた対応をしなければ、発達が促されな
いだけでなく、子どもに失敗体験を積み重ねさせてしまう可能性があります。



どんな要因が考えられるの??



視覚、皮膚感覚、深部感覚、感覚処理のパターン、運動企画、空間認知、言語機能、
実行機能、運動機能などさまざまなことが関連しています。



うまくできないのには理由があります。

要因を考える視点を持って適切な対応と合理的配慮を検討しましょう！

引用：鴨下賢一(2022)『発達が気になる子の学校生活における合理的配慮』中央法規

【参考】

教育分野における合理的配慮の具体例について、下記を参考に見てはいかがでしょうか。

- インクルーシブ教育システム構築支援データベース（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所）
「合理的配慮」実践事例データベース（文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築事業」にお
いて取り組まれている実践事例について検索するシステム）等を掲載しています。

<http://inclusive.nise.go.jp/>

- 特別支援教育教材ポータルサイト（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所）
特別支援教育の教材や支援機器、学校での実践事例を紹介しています。

<http://kyozai.nise.go.jp/>

おすすめ書籍



鴨下賢一(2022)『発達が気になる子の学校生活における合理的配慮』中央法規